

2026年度新潟大学 海外留学ガイド

Study
Abroad Guide

留学情報はここでCheck!

新潟大学の海外留学プログラムや留学奨学金の募集等について最新情報を確認できます。

新潟大学 国際交流・留学 ホームページ
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/>

新潟大学 国際交流・留学 Facebookページ
▶ <https://www.facebook.com/niigata.univ.intl/>



ホームページ



Facebook

留学相談窓口はどこ?

五十嵐キャンパス内の国際交流推進課で、留学カウンセラー資格を持つ職員が皆さんからの相談をお待ちしています。電話やメールでの相談も可能です。

新潟大学国際部国際交流推進課 派遣留学係
五十嵐キャンパス内 教育学部棟A棟1階
TEL: 025-262-7332 / 7631 / 6797
E-mail: studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp

お問い合わせ



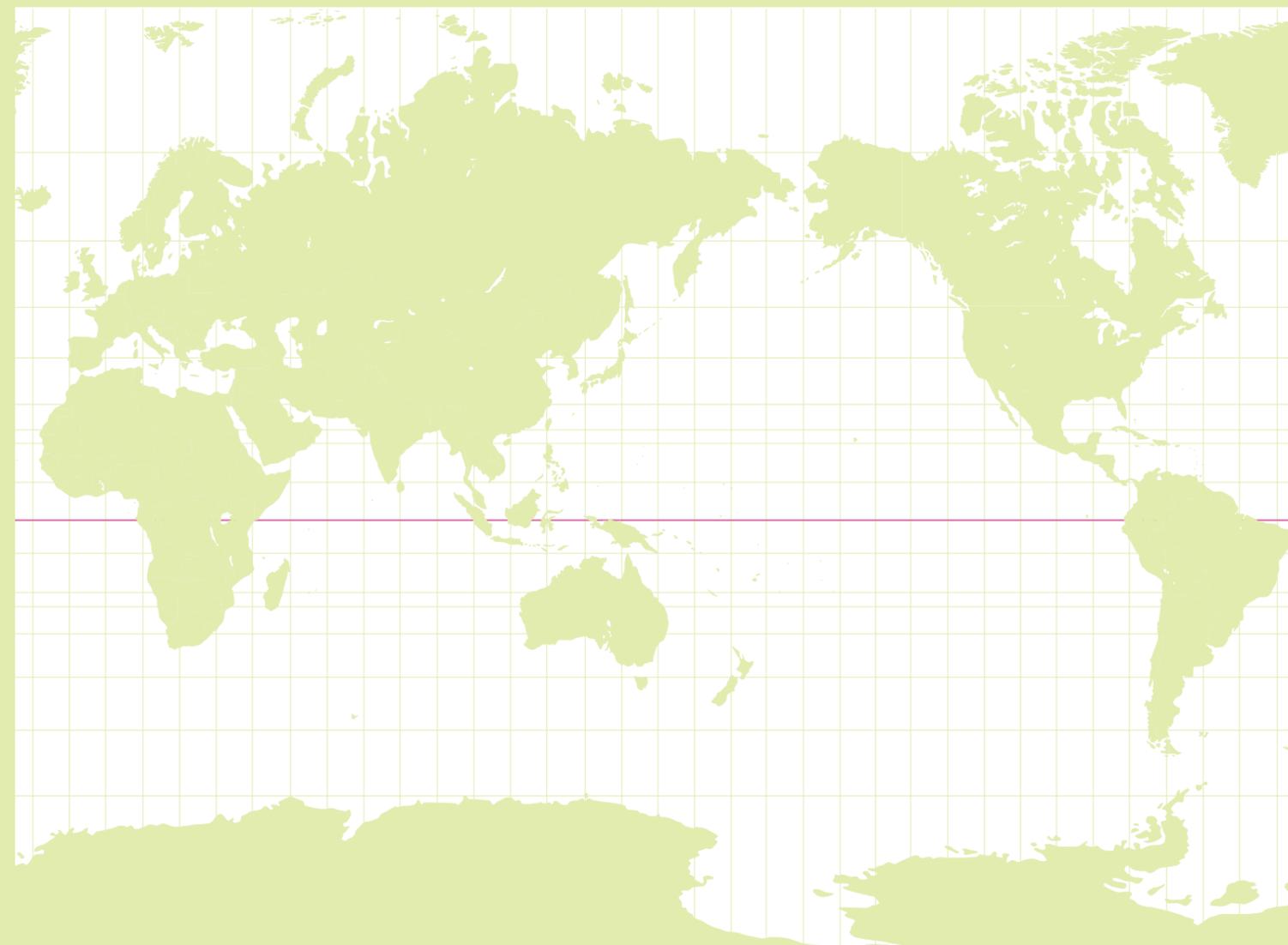
新潟大学国際部国際交流推進課
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-7332

※このパンフレットの掲載情報は2026年1月現在の情報であり、世界情勢の影響や研修先の都合等により変更となる場合があります。

2026年2月発行

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



CONTENTS

- | | | | |
|-----|---------------------------------------------|-------|------------------------------------------|
| 2-3 | 新潟大学の留学制度について | 13 | ◇フィリピンALLC英語研修
◇シンガポール・スプリングセミナー |
| 4-5 | 海外留学フローチャート | 14 | ◇オックスフォード大学スプリングセミナー
第2タームに参加可能なプログラム |
| 6 | 海外留学に向けて | 15 | 専門分野プログラム |
| 7 | 2026年度 留学関連年間スケジュール | 16-17 | 交換留学 |
| 8-9 | ショートプログラム | 18-19 | 留学の奨学金について |
| 10 | ◇韓国サマーセミナー
◇中国語研修 | 20-21 | 留学の安全・危機管理について |
| 11 | ◇カナダ・サマーセミナー
◇オタゴ大学英语研修 | 22-23 | 留学体験談 |
| 12 | ◇西シドニー大学国際交流プログラム
◇オーストラリア多文化共生社会体験プログラム | | |



新潟大学の留学制度について

短期から長期まで、様々な留学プログラムを提供しています

新潟大学では、留学の目的や学習段階に応じて、留学の機会を幅広く提供しています。より多くの学生に国際経験の場を提供するために、海外が初めてでも参加しやすい「ショートプログラム」から、海外で各学部での専門分野を短期間学ぶ「専門分野プログラム」、さらには1学期間または2学期間の「交換留学」など、多様な留学プログラムを用意しています。



1 ショートプログラム

▶ 1週間から5週間程度

＼ まずは留学を体験してみよう！ /

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に滞在したり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活や異文化に触れることができます。

(例)



韓国サマーセミナー



オタゴ大学英語研修

西シドニー大学国際交流プログラム



オックスフォード大学スプリングセミナー

2 専門分野プログラム

▶ 1週間から数か月

＼ 海外で専門分野を学ぼう！ /

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の医療現場で臨床研修を経験したり、企業でのインターンシップを経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

(例)



スリランカでの海外研修(理学部)



ハノイ医科大学病院歯科見学(歯学部・ベトナム)



G-DORM 学生交流プログラム(工学部)

こんな学生に
オススメ!

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

こんな学生に
オススメ!

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

<まずは情報収集しよう!>

国際部国際交流推進課では、留学に関連した情報を定期的に配信しています。学務情報システムやHPに掲載している情報以外の情報もお送りしています。留学に少しでも興味のある人は、是非メーリングリストに登録してください!

留学関連情報配信用メーリングリスト

(参考)

QRコードURL

<https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=0Um2W-RWfEGy6WRV8vz8rN40VbWbJFAsmLkYDjvwCpUNkLJVDZKWUvZUkiVQTY3MFRMRjBZRzJWMIQCNOPWcu&route=shorturl>



3 交換留学

▶ 1学期間または2学期間

＼ 本格的に外国語や専門分野を学ぼう！ /

世界中の大学との間で結ばれた交流協定にもとづき、海外の協定校で交換留学生として外国語や専門科目を学ぶ制度です。留学先では、現地の学生や世界各国からの留学生とともに学ぶことができます。

(例)



仁荷大学(韓国)



ロードアイランド大学(アメリカ)



ミンスター大学(ドイツ)



ナント大学(フランス)



シドニー工科大学(オーストラリア)



北京大学(中国)

こんな学生に
オススメ!

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

体験者の声



人文学部 小泉 結楓 さん

2024年8月 韓国サマーセミナー

2025年3月~8月 仁荷大学

私は大学2年の3月から8月まで、韓国の仁荷大学に交換留学をしていました。私は韓国語を中学1年生の頃から勉強していたのですが、言語の習得だけでなく韓国文化や多様な価値観に触れたいという理由から、長期留学をすることを長年の目標としてきました。留学期間については半年か1年か迷いましたが、私の場合は、単位互換により半年であれば4年で卒業できることを知り、半年間の留学を決断しました。

私は大学に入学するまで韓国を訪れたことがなかったため、長期の留学前に韓国について知りたいという思いから、2年次に約3週間の韓国サマーセミナーに参加しました。サマーセミナーに参加する中で、実際に自分の目で見て体験した韓国文化に魅了され、長期留学をしたいという思いがより一層強くなりました。1・2年次には学内の外国語学習支援スペース「FL-SALC」の朝鮮語チャットにも参加し、韓国人留学生との交流を深めました。朝鮮語チャットでは実際に韓国人との会話を通じて語学力を向上させることができただけでなく、留学前に仁荷大学から来た韓国人の友達も作る事ができました。

仁荷大学では、韓国の文化や社会について学ぶ留学生専用科目に加えて、現地の学生と学ぶ韓国文学の専門科目を取っていました。授業は日本と比べてプレゼンテーションやチームプロジェクトが多く、特に専門科目はついていくのが大変でしたが、授業を重ねるごとに成長を実感することができました。そして6月からは大学付属の語学学校に通い、様々な国籍のクラスメイトと韓国語を通して交流を深めました。日本人が1人しかいない環境で最初は不安もありましたが、そんな心配が吹き飛ばすほどクラスメイトがたくさん声をかけてくれたため、とても充実した留学生活を送ることができました。

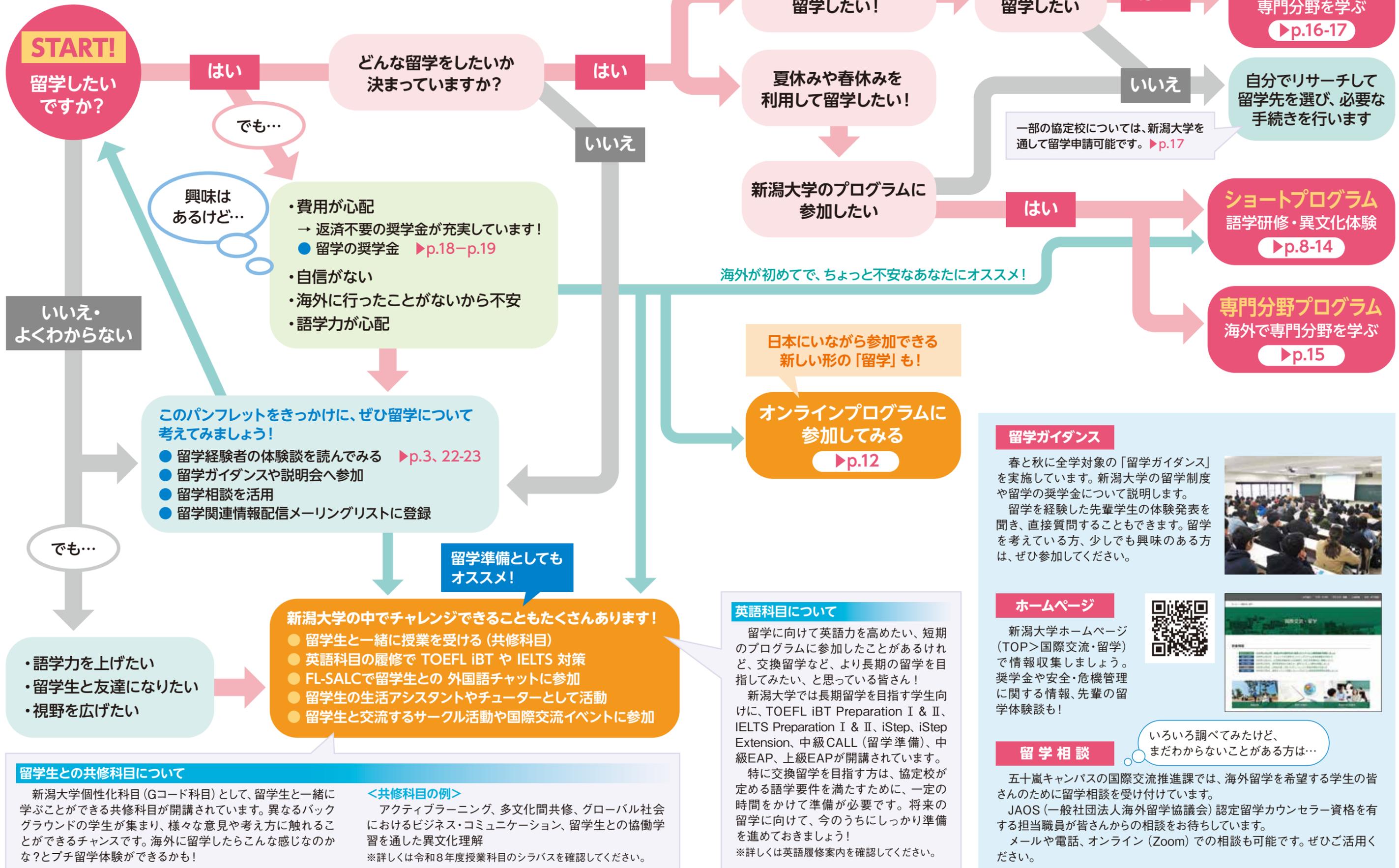
留学は楽しいことばかりではなく、思うようにいかないことも多くありましたが、そうした経験を乗り越えたからこそ自分自身を成長させることができたと感じています。留学前は自分の意見がなかなか言えずに悩むことが多かった私でしたが、留学を通して主体的に行動する力を身につけることができました。是非皆さんもほんの少し勇気を出して、留学に挑戦してみてください! 応援しています!



景福宮での韓服体験

海外留学フローチャート ~どんな留学がしたいか考えてみましょう~

フローチャートの質問に答えて進み、自分にどんな留学が向いているか、考えてみましょう!



海外が初めてで、ちょっと不安なあなたにオススメ!

日本にいながら参加できる新しい形の「留学」も!

オンラインプログラムに参加してみる ▶p.12

留学ガイダンス

春と秋に全学対象の「留学ガイダンス」を実施しています。新潟大学の留学制度や留学の奨学金について説明します。留学を経験した先輩学生の体験発表を聞き、直接質問することもできます。留学を考えている方、少しでも興味のある方は、ぜひ参加してください。



ホームページ

新潟大学ホームページ(TOP>国際交流・留学)で情報収集しましょう。奨学金や安全・危機管理に関する情報、先輩の留学体験談も!



留学相談

五十嵐キャンパスの国際交流推進課では、海外留学を希望する学生の皆さんのために留学相談を受け付けています。JAOS(一般社団法人海外留学協議会)認定留学カウンセラー資格を有する担当職員が皆さんからの相談をお待ちしています。メールや電話、オンライン(Zoom)での相談も可能です。ぜひご利用ください。

いろいろ調べてみたけど、まだわからないことがある方は...

留学生との共修科目について

新潟大学個性化科目(Gコード科目)として、留学生と一緒に学ぶことができる共修科目が開講されています。異なるバックグラウンドの学生が集まり、様々な意見や考え方に触れることができるチャンスです。海外に留学したらこんな感じなのかな?とプチ留学体験ができるかも!

<共修科目の例>

アクティブラーニング、多文化間共修、グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーション、留学生との協働学習を通じた異文化理解
※詳しくは令和8年度授業科目のシラバスを確認してください。

英語科目について

留学に向けて英語力を高めたい、短期のプログラムに参加したことがあるけれど、交換留学など、より長期の留学を目指してみたい、と思っている皆さん!新潟大学では長期留学を目指す学生向けに、TOEFL iBT Preparation I & II、IELTS Preparation I & II、iStep、iStep Extension、中級CALL(留学準備)、中級EAP、上級EAPが開講されています。特に交換留学を目指す方は、協定校が定める語学要件を満たすために、一定の時間をかけて準備が必要です。将来の留学に向けて、今のうちにしっかり準備を進めておきましょう! ※詳しくは英語履修案内を確認してください。

海外留学に向けて

～留学実現への道～

※あくまでも一例ですので、この限りではありません。

項目	内容
留学情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 留学ガイダンスや各募集説明会に参加し、情報を得る。 国際交流・留学ホームページにアクセス ▶ https://www.niigata-u.ac.jp/international/ (独)日本学生支援機構 (JASSO) の「海外留学情報サイト」や、各国大使館のホームページで、留学情報や奨学金の情報を得る。 ▶ JASSO海外留学情報サイト (https://ryugaku.jasso.go.jp/) ▶ JASSO留学ガイドブック「わたしがつくる海外留学」 (https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook.html) ▶ 外務省海外安全ホームページ (https://www.anzen.mofa.go.jp/)
留学計画	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流推進課の留学相談を利用してみる。 先生や先輩、家族に相談。 交換留学は学内選考に向け、早めに準備を開始する。特に、必要な語学能力試験準備は時間がかかるため計画的に! FL-SALC (中央図書館内) で留学生との外国語チャットに参加したり、留学生の生活アシスタントやチューターを経験したりするなど、色々な活動にチャレンジする。 留学奨学金について情報収集し、各締切までに申請を行う。
応募～参加	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【短期の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流センター実施のショートプログラムは、夏季は4月頃、春季は10月頃に募集を開始するため、ホームページや学務情報システムの案内をチェックしておく。 </div> <div style="width: 45%;"> <p>【長期の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学内選考に向け、早めに準備を開始する。特に、必要な語学能力試験準備は時間がかかるため計画的に! 開始時期により募集時期が異なるので、注意が必要。留学ガイダンスへの参加、国際交流推進課や各学部・研究科窓口で、常に最新情報を得ておく。 詳細は p.16-17 へ! </div> </div>

留学のタイミングはそれぞれですが、早めの計画で選択肢が広がります!

行きたいのは長期? 短期?

2026年度 留学関連年間スケジュール

※現時点(2026年1月現在)での予定であり、時期等は変更になることがあります。詳細が決まり次第、「国際交流・留学」ホームページに掲載するとともに、学務情報システムの連絡通知によりメールでお知らせしますので、定期的にご確認ください。

月	留学ガイダンス等	ショートプログラム <small>※学部を問わず参加可能なプログラムについて掲載しています。</small>	大学間交流協定校への交換留学	留学奨学金
4	留学ガイダンス・留学体験発表会 (4月上旬～中旬)	夏季ショートプログラム募集説明会 (4月中旬～下旬)		<ul style="list-style-type: none"> ○交換留学等を対象としたセメスター留学奨学金については、交換留学の募集説明会で詳しく説明します。 ○ショートプログラム等で利用可能な奨学金については、HPや各プログラムの募集説明会で確認してください。
5		夏季ショートプログラム参加申込期限 (5月上旬～下旬)	GW明けに締切のプログラムも。申込みのチャンスを逃さないようスケジュールをチェックしよう!	新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 <small>※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。</small>
6		第2タームに参加可能なショートプログラム実施 (6月中旬～8月中旬) <small>※募集・申込みは前年度の1～2月頃。他の授業に支障がないことを十分確認の上、申し込んでください。</small>	2027年春派遣生の募集開始・募集説明会	古泉肇グローバル人材育成奨学金 学内応募締切
7	海外渡航前安全管理オリエンテーション		2026年秋派遣生向け渡航前オリエンテーション	
8		夏季ショートプログラム実施 (8月上旬～9月下旬)	2026年秋派遣生順次、留学開始	
9			2027年春派遣生向け留学手続きオリエンテーション	
10	留学ガイダンス・留学体験発表会 (10月上旬～中旬)	春季ショートプログラム募集説明会 (10月上旬～下旬)		2027年秋派遣生の募集開始・募集説明会
11		春季ショートプログラム参加申込期限 (10月下旬～12月上旬)		新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 <small>※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。</small>
12	海外渡航前安全管理オリエンテーション			
1			2027年春派遣生向け渡航前オリエンテーション	
2			2027年秋派遣生向け留学手続きオリエンテーション	
3		春季ショートプログラム実施 (2月中旬～3月下旬)	2027年春派遣生順次、留学開始	新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 <small>※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。</small>

Focus!

FL-SALCとは? ▶新潟大学学生なら誰でも自由に利用可能!楽しみながら外国語に触れられます。

中央図書館ラーニング・commons2階にある外国語学習支援スペースFL-SALC (Foreign Language Self-Access Learning Centerエフエル・サルク) では、様々な外国語学習関連の図書や教材が揃っており、皆さんの自主的な学習をサポートしています。英語や初修外国語を使って留学生と楽しく会話したり、テーマ別の学習グループに参加したり、国際交流、留学準備の場としてぜひ積極的に活用しましょう!英語学習相談も受け付けています。

学生からの声 人文学部 浦野 翔太郎 さん (2025年8月～2025年12月 米・カリフォルニア州立大学ソノマ校 交換留学)

私は1年生の春から毎週3回を目安に英語チャットに通っていました。オーストラリアの短期語学留学とアメリカでの交換留学の際には、英語チャットのおかげで、英語を話すことへのハードルを感じずに留学をスタートできました。特に自己紹介は英語チャットで何度も繰り返し練習していたため、スラスラと話せて初対面の人とも自然に会話ができました。



英語チャットでは、留学生や留学経験者から異なる文化の話や留学体験談を聞くことが出来るため、楽しみつつ学びながら留学のイメージを広げられます。継続が大切な語学学習において、毎日決まった時間に行われている英語チャットは習慣化しやすいうえ、アットホームな雰囲気に参加しやすいのも魅力です。まずは一度気軽に参加してみてください。



FL-SALC HP

1 ショートプログラム

◆学部を問わず参加可能なショートプログラム一覧◆

ここに掲載しているプログラムは、学部を問わず、全学部の学生が申し込み可能なプログラムです。学部・研究科で実施するプログラムで当該学部・研究科所属学生のみが対象となるものについては、各学部・研究科学部係にお問い合わせください。

※参加費用の変動について※

記載されている参加費用の目安は2025年度実施時の実績であり、募集時の国際情勢や為替レートによって大きく変動する可能性があります。

一定の要件を満たす方は、返済不要の奨学金を受給することができます(プログラムにより人数上限あり)。奨学金についての詳しい情報はp.18-p.19へ!

実施元	プログラム名	研修先国・地域	研修先大学等	実施予定期間(2026年度)※1	募集開始時期(予定)	申込締切(予定)	募集定員	単位付与・認定	参加費用の目安※2	概要	問い合わせ先
夏季実施プログラム(予定)											
国際交流センター	韓国サマーセミナー	韓国	漢陽大学	8月上旬～8月下旬(約3週間)	4月	5月上旬	15名程度	有	2025年度:約39万円	⇒詳細について、p.10で紹介!	国際部 国際交流推進課
	中国語研修	中国	北京大学	8月上旬～8月下旬(約4週間)	4月	5月上旬	10名程度	有	2025年度:約56万円	⇒詳細について、p.10で紹介!	
	カナダ・サマーセミナー	カナダ	アルバータ大学	8月下旬～9月下旬(約5週間)	4月	5月上旬	10名程度	有	2025年度:約80万円	⇒詳細について、p.11で紹介!	
	オタゴ大学英語研修	ニュージーランド	オタゴ大学	8月中旬～9月下旬(約5週間)	4月	5月上旬	15名程度	有	2025年度:約84万円	⇒詳細について、p.11で紹介!	
	西シドニー大学国際交流プログラム	オーストラリア	西シドニー大学	6月～9月(第2タームオンライン研修8週間+現地研修2週間強)	4月	5月下旬	オンライン研修:35名程度 現地研修:20名程度	有	2025年度:約75万円(オンライン研修2週間+現地研修2週間)	⇒詳細について、p.12で紹介!	
人文学部	ビーレフェルト大学ドイツ語研修	ドイツ	ビーレフェルト大学	8月上旬～9月上旬(約4週間)	4月	5月	若干名	一部有	募集要項を確認してください	協定校が提供するインターナショナル・サマーコースに参加し、さまざまな国の学生とともにドイツ語を学ぶ。	人文学部
理学部	オーストラリア・ウーロンゴン大学英語研修	オーストラリア	ウーロンゴン大学	8月下旬～9月上旬(約3週間)	4月	5月下旬	15名程度	一部有	55万円程度	世界中から集まる留学生と共に学ぶ短期集中英語研修。ホームステイで生きた英語とオーストラリア文化を学ぶ。	理学部
外部	Campus France (フランス政府留学局)※短期留学プログラム 夏季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	8月～9月(約4週間)	4月	5月	特になし	一部有	2025年度夏プログラムはCampus Franceの都合により実施されませんでした。費用目安は2025年度春プログラムを参照願います。	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	国際部 国際交流推進課
春季実施プログラム(予定)											
国際交流センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム	オーストラリア	クイーンズランド工科大学 カレッジ	2月中旬～3月中旬(約5週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	2025年度:約75万円	⇒詳細について、p.12で紹介!	国際部 国際交流推進課
	フィリピンALLC英語研修	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2月中旬～3月下旬(約5週間)	10月	11月上旬	10名程度	有	2024年度:約42万円	⇒詳細について、p.13で紹介!	
	シンガポール・スプリングセミナー	シンガポール	東南アジア教育大臣機構等	2月下旬～3月中旬(約2週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	2025年度:約56万円(20名参加の場合。参加人数により変動あり)	⇒詳細について、p.13で紹介!	
	オックスフォード大学スプリングセミナー	イギリス	オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ	3月中旬～3月下旬(約2週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	2025年度:約100万円	⇒詳細について、p.14で紹介!	
理学部	日台学生交流ショートプログラム・台湾スプリングセミナー	台湾	中原大学、国立彰化師範大学、国立台湾師範大学、国立成功大学	2月～3月(約4～5週間)	10月	11月下旬	14名程度(派遣先により異なる)	有	約20～28万円程度(派遣先により異なる)	平成20年度から毎年継続して実施。台湾の対象大学の中から1か所を選び、4～5週間の語学研修・台湾文化体験ができる。	理学部
外部	Campus France (フランス政府留学局)※短期留学プログラム 春季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	2月下旬～3月下旬(約4週間)	10月	11月中旬	特になし	一部有	2025年度春プログラム費用:学生寮滞在の場合:2,415ユーロ ホームステイの場合:3,200ユーロ(往復航空券代等は含まない)	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	国際部 国際交流推進課
第2ターム実施プログラム(予定)											
国際交流センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム(第2ターム実施)	オーストラリア	クイーンズランド工科大学 カレッジ	6月中旬～7月下旬(約5週間)	1月	2月上旬	20名程度	有	2025年度:約76万円	春季に実施しているプログラムの第2ターム版。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生について理解を深める。	国際部 国際交流推進課
	韓国・仁荷大学サマースクール(第2ターム実施)	韓国	仁荷大学	7月下旬～8月中旬(約3週間)	3月	4月	15名程度	有	2025年度:約35万円	大学間交流協定校である仁荷大学のインターナショナル・サマースクールに参加。研修は英語で行われ、「英語も韓国語も」学ぶことができる。	

◆過去に実施したプログラムの募集要項等については、「新潟大学 国際交流・留学」HPで確認できます。
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/>



※1 本学の授業期間や試験期間に実施日程が重なるプログラムへの申込にあたっては、授業等に支障のないことを必ず確認してください。

※2 特に注意書きのない場合、参加の目安の金額には往復航空券代、宿泊費、現地での授業料(プログラム参加費)を含みます。パスポート取得にかかる費用、保険や危機管理サービスにかかる費用、国内旅費、小遣い等は別途必要になります。

韓国サマーセミナー

達成目標

- 少人数の韓国語授業で実践的な韓国語力UP!
- 韓国の文化について学び、理解を深める

実施期間: 8月上旬～下旬 約3週間(予定)

滞在: 漢陽大学学生寮

※本プログラムの奨学金を希望する場合、第2タームに開講される「準備講座」の履修が必須です。

担当教員から一言

(藤石貴代准教授)

新潟から2時間で行ける「一衣帯水」の隣国。韓国と日本は文化・経済・政治的に関係が深く、距離的にも心理的にも「近くて近い国」になれるはず。韓国人の勤勉さ、前向きで積極的な人生への態度や人間関係、何より親切(おせっかい?)で人懐っこい「情」の世界には、「空気を読む」日本的コミュニケーションと正反対の解放感と人間味があふれています。食べ物も美味しい。引っ込み思案のあなたにもきっと勇気と元気を与えてくれることでしょう。日本語と韓国語は語順も同じ、語彙も同じ漢字語が多く、文字と発音規則さえ習得すれば、外国語のなかでも私たちが最も学びやすい言語です。言葉を知ることとは心を知ること。何はともあれ「百聞は一見に如かず」。この機会にぜひ韓国を体験してみてください。きっともう一度(以上)、行きたくなくなります。

韓国プログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①熟練した韓国人教師によるダイレクト・メソッド(日本語を使わない)の韓国語授業、②充実した韓国文化体験プログラム、③漢陽大学現役学生によるチューター制度(トウミ制度)です。特に、チューターからは学習面、生活面の両方においてサポートを受けられ、プログラム参加学生に大変好評です。

交換留学制度による1～2学期間の本格的な留学を考えている学生にもおすすめできるプログラムです。

3週間の現地滞在を通して、インターネットやテレビで知る情報とは異なる、韓国人の生活や考え方に触れることができるでしょう。



漢陽大学にて

研修内容

漢陽大学のソウルキャンパスで韓国語と韓国文化を学ぶ、3週間集中のサマースクールです。韓国語の授業は、初級から上級までレベル別に分けられた少人数クラスで受講します。また、漢陽大学の現役学生がチューターとなる韓国語チュータリングにより、韓国語授業では教えてもらえない言葉などを教わることができます。その他、韓国の伝統文化に触れる韓服着付け・茶道体験、伝統舞踊授業、韓国の今がわかる韓流体験トリップなどに参加します。

研修先について

漢陽(ハニャン)大学

1939年に東亜工科学院として設立され、建国技術学院、漢陽工科大学を経て1959年に漢陽大学校となりました。現在ソウルと安山にキャンパスを構えています。校訓は「愛の実践」、シンボルは「獅子」。韓国有数の名門大学であり、特に工学分野が有名です。政財界、芸能、スポーツ界などにも多くの著名人を輩出しています。ソウルキャンパスは、大学構内に地下鉄駅が乗り入れている(2号線「漢陽大」駅)な

ど、交通至便です。

新潟大学と漢陽大学は、2009年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

※漢陽大学の都合により、セミナー開始日が新潟大学の第1学期試験期間中となる可能性があります。日程は確定次第ホームページに掲載します。申込みの際には、試験に支障のないことを必ず確認してください。

- 月～土 (午前) 韓国語授業 (午後) 韓国語チュータリング
- Special Activity(文化体験)にも参加します。



韓服(ハンボク)を着て記念撮影



韓国料理実習(トッポギとチヂミ)

中国語研修

達成目標

- 実践的な中国語のコミュニケーション能力を高める
- 社会や人、文化に肌で触れて、中国文化への理解を深める

実施期間: 8月上旬～下旬 約4週間(予定)

滞在: ホテル(北京大学近郊)

担当教員から一言

昨今、スマートフォンや翻訳ツール、AIの進化により、外国語を学ぶ意義・必要性についての考え方には変化が生じていることと思います。しかし、そんな便利な時代だからこそ、現地ではか得られない「体験としての学び」が、より価値を持ちます。中国での短期研修では、生きた中国語に触れながら、街の雰囲気や人々の考え方、生活の細かな習慣まで五感で感じ取ることができます。教室での学習だけでは得られない臨場感や気づきは、AIやデジタルツールでは代替できません。さらに、この短期研修への経験は、半年以上の長期留学へ弾みをつけることにも最適です。短期間でも現地の学習環境に身を置くことで、長期留学への不安が軽減され、自信と目的意識が高まることでしょう。また、現地での実体験に基づく学びと成長は、将来の学びや国際的な活動に広がりをもたらす財産になるでしょう。短期研修期間だけでなく、渡航前と帰国後にも、しっかりと中国語学習に励んでもらえればと思います。

中国プログラムのここがオススメ!

5000年以上の歴史を誇る文明の国、中国。豊かな文化と生活の利便性を兼ね備えています。特に北京は中国の政治・文化の中心地であり、生活面でも魅力がいっぱい。地下鉄網が充実していて移動がスムーズ、街にはカフェやショッピングモールが立ち並び、国際都市ならではの多様な食文化を楽しめます。

北京大学での中国語研修プログラムでは、1クラス15名程度で高い水準の中国語教育、中国文化講座により、学びを深めることができます。世界トップクラスの北京大学での中国語と中国文化を実際に体験しながら世界中の仲間と歴史と伝統あるキャンパスで学ぶことは、貴重な経験になること間違いありません。中級クラス以上では、中国語で中国語を学ぶ体験ができることも魅力の一つです。また、プログラム期間中は、中国での生活に慣れるよう、北京大学の現役学生が現地アドバイザーとして生活のサポートをしてくれるため、初めての海外渡航という方でも安心して参加することができます。

短期間でありながら、実践的な中国語力向上、中国文化・歴史を体感できる満足度の高い魅力的なプログラムです。

研修内容

アジア最高峰、中国随一の北京大学で、中国語や中国文化を学ぶプログラムです。長年北京で語学研修プログラムを運営してきた旅行社が企画し、複数の大学からの参加者と共に学ぶ合同研修です。質の高い中国語の授業を集中的に受けることで、短期間で中国語コミュニケーションスキルを向上させることができます。授業は初級から上級レベルまで、能力別にクラス分けされ、少人数で自身のレベルに合った授業を世界各地から訪れる留学生と共に受けることができます。また、プログラムには、中国社会と文化に関する英語による講義や、北京市内での文化訪問、世界中から学びに来た学生との交流や対話の機会も含まれており、中国文化や異文化への理解を深めることができます。

研修先について

北京大学(Peking University)

1898年に創立された、歴史と伝統ある中国近代史上初の国立総合大学であり、中国を代表する名門大学の1つです。幅広い研究分野で高い評価を得ており、数々の世界大学ランキングでもトップクラスを維持しています。

キャンパスは広大で、湖や庭園などがあるほ

か、中国最大規模の図書館や複数の食堂施設もあり、歴史と自然に囲まれながら快適な環境の中で学びを深めることができます。キャンパスの西側には、大学を象徴する赤い校門があり、多くの観光客が訪れる観光スポットとなっています。

スケジュール

- 月～金: 中国語授業(口語・漢語)、英語による文化講座
- 土日: 自由行動、文化施設等の見学等



北京大学図書館にて



キャンパス内の様子



北京大学未名湖

カナダ・サマーセミナー

達成目標

- カナダの歴史と文化について学ぶ
- リスニング、スピーキングを鍛えて英語の総合力をUP!
- ホームステイにより異なる文化に対する理解を深める

実施期間：8月下旬～9月下旬 約5週間(予定)
滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

新潟大学とアルバータ大学は1995年に交流協定を結び、今までに約500名の新大生がこのサマーセミナーに参加しました。この機会を長期の留学に結びつけた先輩も少なくありません。

英語研修はレベル別クラスに分かれて行われ、授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションなどに能動的に参加することが求められます。課外学習にも参加して、他国の学生との交流を深めましょう。さらに、文化施設見学等の課外学習が予定されており、授業の予習・復習、毎日の課題をこなしていると、あっという間に1日が終わります。

セミナー期間中は、アルバータ大学の学生が新大生のグループリーダーとなり、「English Only Policy」により、生活上のケア・連絡事項などをすべて英語で行います。他大学や他国からのクラスメイトとの交流やホームステイ先での生活など、この海外体験はきっと忘れられない思い出になり、視野も大きく広がることでしょう。

カナダプログラムのここがオススメ!

アルバータ大学のあるエドモントン市は、都会でも田舎でもなく比較的治安の良い街です。各家庭に1～3人ずつのホームステイで、現地に住む学生たちと同じように生活し、郊外の住宅地からバスや電車を使って通学します。一日中英語を話す環境下での暮らしには、授業で学んだ英語をより実践的に使える機会が豊富にあります。また、日本とは異なる生活習慣や食事を体験することで、多文化社会であるカナダでの暮らしを実感できます。

現地での生活をサポートしてくれるアルバータ大学生との交流も魅力の一つです。困った時の相談相手となってくれるのはもちろんですが、実際にアルバータ大学に通う学生との意見交換を通じ、カナダや現地の大学生活についてより深く理解することができます。彼らとの交流は貴重な経験となるはずです。

英語研修はもちろんのこと、平日の午後には、現地へ訪れたからこそ体験できるアクティビティが複数用意されています。国立公園や博物館、美術館等の文化的・歴史的施設の見学などを通して、カナダについてより理解を深めることができます。



研修内容

アルバータ大学教育学部English Language Schoolの英語研修プログラムを受講します。TESL(Teaching English as a Second Language)を専門とする講師による英語研修は、少人数制で丁寧な指導。市が誇るエドモントン公園や州議会を訪れるなど、課外活動も充実しています。

研修先について

アルバータ大学

カナダ中西部、アルバータ州の州都エドモントンにある1908年創立の大規模総合大学です。カナダ国内外で高い評価を得ており、約4万人の学生が学んでいます。キャンパスは利便性が高く、快適な環境で学ぶことができます。



緑豊かで広大なキャンパス

スケジュール

月～金：英語研修
文化・社会・歴史施設の見学等
カナディアンロッキーツアー(オプション)



授業風景



カナディアンロッキーの雄大な自然



研修内容

ニュージーランド南島、ダニーデンにあるオタゴ大学イングリッシュランゲージセンターにて、5週間の英語研修に参加するプログラムです(1週間の授業時間数は23時間を予定)。プレACEMENTテストにより5段階にクラス分けされ、参加者のレベルに応じたクラス(平均14名、最大18名)で授業が行われます。読む・書く・話す・聞く・文法・語彙と、英語を総合的に伸ばすカリキュラムが組まれており、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に基づき、レベル毎に習得状況や目標があります。中級レベル以上では、General Englishに加え、IELTS対策クラスやNew Zealand Studies科目などの選択科目を受講できます。

研修先について

オタゴ大学イングリッシュランゲージセンター

オタゴ大学は、1869年に創立のニュージーランドで最も古い大学で、教育や研究において国際的な定評がある非常にレベルが高い大学です。研修先であるオタゴ大学イングリッシュランゲージセンターはオ

タゴ大学の敷地内にある、大学付属の語学学校で、ニュージーランドの中でもトップクラスを誇る設備(自習ルーム、図書室、カフェテリア、コンピュータールーム)を使用できます。また、優れた資格を持つ教師陣による質の高い授業が行われています。

スケジュール

月～金：英語研修
(課外アクティビティもあり)
土日：自由行動



充実した設備の自習ルーム



世界一急な坂Baldwin Street

オタゴ大学時計塔

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

本研修に参加したみなさんの声を紹介します。まず英語研修に関しては、内容がよかった、スピーキング能力が上がった、人前で話すことに慣れた、英語学習に対するモチベーションに変化があった、IELTSクラスは難しかったが次第に慣れた、といった感想がありました。授業外では、他国の学生と出かけて英語を使った、ホームステイ先で返答する努力を続けることでコミュニケーションがとれるようになった、豊かな自然に囲まれて毎日新しい体験ができた、とのことでした。さらに帰国後には、積極的になったことを実感した人が多く、中には長期留学を目指すようになった人もいます。ただ、出発前に英語の基礎力をつけて、現地では実践に集中すべきだったという反省も少なからず見受けられたので、参考にしてください!

オタゴ大学英語研修のここがオススメ!

オタゴ大学があるダニーデンは、海沿いにある自然豊かな、美しい街です。スコットランドからの移民によって作られた歴史ある

街で、街の名前は、ゲール語でスコットランドの首都「エジンバラ」を意味しています。「南海のエジンバラ」とも呼ばれ、現在でもスコットランド文化を色濃く残しています。地域人口の約20%は学生であり、学園都市としても有名です。坂が多い街でもあり、世界ギネスブックで認定された「世界一の急坂」Baldwin Streetがあります。

オタゴ大学イングリッシュランゲージセンターの英語研修は充実の学習時間でしっかり学べるプログラムとなっており、自分のレベルに応じた学習を進めることができるので、英語に自信のない方も、海外での語学研修が初めてという方も、安心して参加することができます。さらに、中級レベル以上では、IELTS対策科目やNew Zealand Studies科目などの選択科目を受講することができるのも大きな特徴の一つです。交換留学など、より長期の留学を考えている学生には絶好の機会となるでしょう。

滞在期間中は現地の家庭にホームステイするため、ニュージーランドの文化を体験しながら、生のKiwi Englishに触れることができます。週末はダニーデン市街を散策したり、近隣の街まで足を伸ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

オタゴ大学英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛え英語の総合力をUP!
- ニュージーランドの文化について学び、理解を深める!

実施期間：8月中旬～9月下旬 約5週間(予定)
滞在：ホームステイ

西シドニー大学国際交流プログラム

【新制度】米国発・最新のIMMERSEツールを導入し、10週間の充実カリキュラムへ！最高の学習体験を！

達成目標

- 英語を「勉強」から「得意」へ！米国発・最新ツールで世界を広げ将来のキャリアを動かす！
- 多国籍の学生との協働学習や交流、現地の人との交流を深める！
- 英語・キャリア・異文化・デジタルの知識とスキルを身につける！

実施期間：6月～9月：第2タームオンライン研修8週間+現地研修2週間強(予定)※

滞在：ホームステイ(現地研修)

※時期・期間は2026年1月現在の予定で、変更となる可能性があります。

研修内容

世界中の学生との協働を通じて、実践的なグローバル人材を目指すプログラムです。このプログラムでは、これからの社会で必須となる英語・キャリア・異文化・デジタルスキルを、西シドニー大学付属The Collegeと米国IMMERSE社が提供するオンライン約8週間の研修で基礎を固め、現地約2週間強の研修で実践します。

◆新潟からシドニーへ！自分をアップデートする特別な10週間！

- STEP 01: PRE-TRAINING (事前研修)
新潟大学の留学生と共に、西シドニー大学や米国IMMERSE社等によるオンライン研修に参加。渡航前から英語で議論し、異文化対応力の「基礎」を固めます。
- STEP 02: LOCAL EXPERIENCE (現地生活)
オーストラリアに渡航して、前半は生の「Aussie English」研修と多国籍学生との多様な文化交流にどっぷり浸かる毎日。加えて、オーストラリアの家庭へホームステイで生活文化も体験。
- STEP 03: GLOBAL CHALLENGE (実践)
後半に、企業インターンや、西シドニー大

学独自のSDGs・リーダーシッププロジェクトに参画。世界基準の課題に挑みます。

【成長の証！】

多様な価値観に触れ、国際的視野と社会人基礎力(コンピテンシー)を劇的に引き上げます。

【ここが進化！】

米国発・最新IMMERSE(イマース)導入。英語は「勉強」から「体験」へ。最新のメタバース×AIが導く10週間の旅。24時間どこでも英語圏。圧倒的没入感で、実践スキルが身につきます。

◆グローバル人材としての将来にも活かせる

- 「英語ができる」以上の武器を：今、企業が求めているのはテストの点数ではなく、「実際に英語で動ける力」です。
- ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)に最適：最新技術を使いこなした10週間の挑戦は、面接での強力なアピール材料になります。
- グローバルな自信を：多様な場面を乗り越えた経験が、将来のキャリア選択肢を大きく広がります。

研修先について

「世界No.1」の大学へ！西シドニー大学(WSU)で、人生を変える留学を！「ただの語学留学」で終わらせない。

西シドニー大学(WSU)は、THE世界大学インバクトランキングで3年連続「世界第1位」に輝く、今世界で最も注目される大学の一つです。その公式付属校である「The College」なら、最高峰の環境でアカデミックな英語力を手に入れます。

世界1位の大学で学び、グローバルなキャリアをここから始めよう！



SDGsの授業風景



オンライン研修の様子

担当教員から一言

(蒙轡准教授)

このプログラムはコロナの真っ最中で立ち上げられ、「少しでも国際交流や国際教育に明かりを灯し、より多くの学生を笑顔で効果的に学ばせる」よう、本学が西シドニー大学付属語学学校The Collegeと心を込めて企画・運営・実行しました。

これまでのオンライン・現地研修は、参加学生に好評だっただけでなく、「誰が、何を、なぜ、またどのような状況で学習したのか」を測り、異文化間能力を含む自己(Self)全体を測定することが可能である客観的測定テストBEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory)の結果から、参加学生の①英語学習意欲、②グローバル・コンピテンシー、③社会人基礎力と④デジタルリテラシーを高めるために、優れた教育効果が確実に見られました。そのため、もし「オンライン研修には本当に効果があるのか」という疑問を持ったり、「今、やるかやらないか」を迷ったりするのなら、ぜひ応募してください！そうすると、きっと早いうちに、今までと違う自分に出会えると思います。

オーストラリア 多文化共生社会体験プログラム

達成目標

- オーストラリア文化を学び、独自の意見を持つ
- 多文化共生社会について理解を深める
- 英会話を実践し、ホストファミリーと心を通わせる

実施期間：6月中旬～7月下旬 約5週間(予定) ※詳細はp.14を参照
2月中旬～3月中旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(池田英喜准教授)

本プログラムは、オーストラリアでのホームステイと英語研修を通して、より広い視野を持ったグローバル人材の育成を目指して設立されたものです。ネット環境の発達により、どこにいても世界中の情報に接することができるようになった今だからこそ、日本においては味わえない「何か」を全身で吸収し、「本物のグローバル人材」として成長するきっかけとなる経験を積むことができる、そんなプログラムです。

オーストラリアプログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①5週間滞在する間、現地の家庭にホームステイできること、②英語研修はレベル別にクラス分けされ、他の国の留学生と一緒に授業を受けられることです。

異文化体験を主としたプログラムのため、参加時の英語力は一切問いません。英語に全く自信がないというあなたも、躊躇することなく、ぜひ積極的に参加してください。日本から8～9

時間のフライトと意外に近いオーストラリア。ブリスベンとの時差はわずか1時間のため、日本での生活サイクルを保ったまま初日から意欲的に活動することができます。週末は、世界初で最大のコアラ保護区、ローンバイン・コアラ・サンクチュアリーを訪ねたり、ゴールドコーストへ足を伸ばしたり、思い思いの過ごし方が可能です。

過去の参加学生からは、「わからないことだらけの土地で何でもトライしてみようという度胸がつき、使える英語がどんどん増えていった」、「文化・習慣・価値観の違いを肌で感じ、その違いを肯定的に受け取ることができ、自分の成長を感じた」、などの感想が寄せられています。本プログラムへの参加をきっかけに、交換留学等の長期留学を実現した先輩も少なくありません。学生の満足度が大変高いプログラムです。



ホストファミリーとカンガルーと一緒に

研修内容

異文化体験学習として、参加学生は現地でこの課題を与えられます。課題は、現地市民(ホームステイ先の家族等)にインタビューを行い日豪社会の比較及びその問題点を調査し、レポートにまとめることです。現地でインタビューしてまとめることが目的なので、課題は事前には知らされません。

英語研修では、レベル別にクラス分けされ、様々な国籍の留学生とともに週25時間のGeneral English Courseを受講。リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングを含めたコミュニケーション能力の向上を目指します。

研修先について

クイーンズランド工科大学(QUT) カレッジ

ブリスベン市内から2キロの距離にあるQUT Kelvin Groveキャンパス内に立地。語学としての英語を学ぶコースや大学正規入学に備えるためのコースがあります。少人数クラスで、経験豊富な講師陣とスタッフに加え、コンピュータ・ラボや語学学習ラボなど、学生専用の学習施設も充実しています。

す。本プログラムでは個人のレベルに合わせて学べるよう、初級クラス(Elementary)から上級クラス(Advanced)までのレベルに分かれ、General English Courseを受講します。

スケジュール

月～金：QUTカレッジ英語研修コース 受講
土日：自由行動



オリエンテーション・デーのキャンパス風景



様々な国籍のクラスメイトと



フィリピンALLC英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛える!
- フィリピンの社会・文化・歴史を体感する!
- アジアや世界から見た日本について考える

実施期間: 2月中旬～3月下旬 約5週間(予定)

滞在: キャンパス隣接宿舎

研修内容

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))において、英語研修を実施します。研修は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の強化・向上を目的としており、期間中は1日あたり約6時間の英語学習を行います。参加者のレベルに応じてクラス分けされ、様々な国籍や文化的背景をもった人々と同じクラスで学びます。

研修先について

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))

アテネオ・デ・マニラ大学は、1859年に設立されたフィリピンのトップレベルのカトリック系総合大学です。研修先であるALLCは、アテネオ・デ・マニラ大学の人文学部付属するセンターで、世界各国から学生を受け入れており、参加者のレベルに応じた1クラス10名程度の少人数クラスで授業が実施されます。

なお、新潟大学は、アテネオ・デ・マニラ大学と2017年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

月火木金: 英語研修(一部水曜日も授業あり)
土日: 自由行動



地元の人が利用するマーケット



マニラ大聖堂

フィリピンALLC英語研修のここがオススメ!

フィリピンの公用語は英語で、英語教育の質が高いことに定評があります。経験豊富な教員による充実した授業が、他の英語圏の国々と比較すると非常に安価で受講することができます。英語力を向上させて、より長期の留学を目指す学生にとっては最適な研修の機会となるでしょう。実際に、本プログラムへの参加をきっかけにアテネオ・デ・マニラ大学に交換留学を実現した先輩もあり、他大学への交換留学等にも繋がっています。

研修期間中は、キャンパス隣接の宿舎に滞在します。ケソン市ならびに大学周辺の地域は比較的治安もよく、コンビニや飲食店が充実しています。

今、世界中の企業の中でも東南アジアの国々が注目を浴びています。これから世界へ飛び出そうとしている若者にとって、現地を肌で感じる貴重な経験となります。

担当教員から一言

(市橋孝道准教授)

海外の語学研修で英語力を磨きたいけど、金銭面や距離(時差)等のハードルで参加をためらってはいませんか? 本研修は、そのような皆さんの向上心を応援するために設けられています。「英語力を伸ばしたい!」という気持ちに初心者も上級者もありません。海外に出るのが初めての方や既に語学研修に何度か参加したことのある方でも大歓迎です。英語を公用語とするフィリピンでは、日々英語の実践力が試され、授業では高度で正確な英語の運用能力を伸ばすことが可能です。また、授業では、様々な国籍や文化的背景をもった人々と接することになりますので、多様な価値観を知り、グローバルな視野も自然と身につけていくかと思えます。ケソン市ならびに大学周辺の地域は比較的治安もよく、休日には快適な宿舎を出て、ちょっとした観光を楽しんでフィリピンの社会や文化・歴史に触れてもよいでしょう。



修了証を手にクラスメイトと



シンガポール・スプリングセミナー

達成目標

- 留学・国際的素養について考えを深める!
- 多文化共生のための実践力を養う!

実施期間: 2月下旬～3月中旬 約2週間(予定)

滞在: ホテル

※本プログラムの奨学金を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」の履修が必須です。

ハブ)として発展を遂げました。また、シンガポールは、華人系・マレー系・インド系といった多様な民族が共生する「多民族国家」としても知られており、英語を共通言語として、各民族の平和共存を図るための政策が採用されています。さらに、日本にとっては経済上または安全保障上、非常に重要なパートナーであり、多くの日系企業の投資も惹きつけています。

本セミナーでは、約2週間、(1)現地の語学研修機関において午前中に「語学研修」を実施し、(2)午後は体験学習として①「大手日系企業」や現地で開催する「地元新潟企業」、②国際ランキングで常に上位に位置する「現地の大学」、および③人々の経済活動や生活を支える「政府系機関」を訪問します。語学研修にとどまらず、世界で活躍する人々に直接話が聞けるのが本プログラムの特徴です。

比較的治安もよく、美味しい料理も豊富なシンガポールで英語漬けの毎日を送り、世界で、あるいは国際的な視野で活躍する能力について、現地の人々との交流を通じて考えてみませんか。自分のできなさや経験のなさを恥じる必要はありません。誰も最初は初心者であり、熟達も恐怖に打ち勝つ勇気と根気をもった習練の成果です。皆さんの挑戦を心から歓迎します。

シンガポール・スプリングセミナーのここがオススメ!

多様な文化が共存する色豊かな美しい国シンガポール。高層ビルの隙間を埋めるように緑が勢よく育ち、街全体に潤いを感じます。また、中国系、マレー系、インド系、アラブ系など多様な人種が共存し、地下鉄を利用すれば、トリルンディア、チャイナタウン、アラブストリートなどへ簡単に行くことができます。寺院やモスク、にぎやかな屋台やマーケットなど、それぞれまるで別の国に行ったかのような雰囲気を楽しむことができます。

シンガポールの発展はめざましく、リゾート・レジャー施設がいくつもオープンし、地下鉄の路線も増え続けています。将来、世界を舞台に活躍したい学生に、ぜひ体験してもらいたいプログラムです。



企業訪問

研修内容

午前中の英語研修では、言語教育における豊富な実績で知られるRegional Language Centre (SEAMEO RELC)において、An English Communication Skills Courseを受講します。日本人が比較的不得意とするオーラルコミュニケーションに力を入れたプログラムであり、多民族国家での豊かな教育経験を持つ講師陣が、英語プレゼンテーションの方法について英語で指導します。

午後は日系グローバル企業や大学・公的機関等を訪問し、現地の人々との交流などを通じて、留学や海外勤務について考えを深めます。名門シンガポール国立大学(National University of Singapore, NUS)への訪問も予定されており、日本語を学んでいる現地学生との交流も予定されています。

研修先について

SEAMEO RELC

東南アジア教育大臣機構(Southeast Asian Ministers of Education Organization, SEAMEO)とシンガポール政府が共同で設立している、地域言語教育センター

(Regional Language Centre, RELC)、通称SEAMEO RELCは、1968年の創立以来、地域の言語教育とりわけ英語教育において豊富な経験と実績で知られ、留学生から社会人までを指導しています。(注:研修先は年度ごとに変更の可能性があります。)

スケジュール

月～金: (午前)英語研修
(午後)企業等訪問
土日: 自由行動



シンガポール国立大学にて

担当教員から一言

(秋山公平准教授)

シンガポールは非常に小さな都市国家ですが、世界有数のシンガポール港とチャンギ国際空港を擁し、国際ネットワークの「グローバル・



オックスフォード大学スプリングセミナー

達成目標

- スピーキングを中心とした英語力UP!
- イギリスの文化や歴史について学ぶ!

実施期間: 3月中旬～下旬 約2週間(予定)

滞在: 学生寮(オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ)

※本プログラムの奨学金を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」の履修が必須です。

研修内容

世界的な名門大学であるオックスフォード大学との連携により、English Language and Japan-UK Comparative Culture Programmeを受講します。本プログラムは、スピーキングを中心とした英語によるコミュニケーション能力を育成するプログラムであり、英語教育の経験豊かな講師からイギリス文化や歴史を学ぶとともに、英語プレゼンテーション・スキルの向上を目指します。また、研修にはオックスフォード近郊へのスタディツアーや実地研修等が含まれ、実践的な英語を学ぶことができます。課外では、オックスフォード大学の現役学生が、アシスタントとして様々なサポートをしてくれます。

関として知られています。研修先のハートフォード・カレッジは、オックスフォード大学を構成するカレッジのうち、1282年に創立された最も古いカレッジの1つです。「ため息の橋」とも呼ばれる美しい渡り廊下でも知られています。



ため息の橋

研修先について

オックスフォード大学
ハートフォード・カレッジ

オックスフォード大学は、英語圏で最も歴史の長い大学であり、世界有数の学術機

スケジュール

月～金: 英語研修、イギリス文化体験
(ロンドンなどへのスタディツアーに参加)

土日: 自由行動

担当教員から一言

(ハドリー浩美准教授)

歴史と伝統のあるオックスフォード大学にて、学生寮で生活を送りながら英語と比較文化を学んでみませんか。ハートフォード・カレッジはオックスフォード大学のほぼ中心に位置し、映画やドラマの格好の撮影場所ともなっています。徒歩圏内に名所がたくさんあることも魅力のひとつです。そのような環境のもと、アクティブ・ラーニング型の授業で実践的な英語を学ぶと同時に、現地学生との交流やスタディツアーなどを通して多様な価値観に触れることができる充実したプログラムとなっています。あとはみなさんの努力次第で、生涯忘れられない貴重な経験となることでしょう。

オックスフォード大学英語研修のここがオススメ!

オックスフォード大学のキャンパスでの英語学習や現地学生との交流などを通じて、学習意欲が刺激されることでしょう。研修の最終日には、「ガラディナー」と呼ばれるイギリスの伝統的な夕食会に準正装で参加するなど、イギリスの文化や歴史を実際に体験することができます。イギリス英語に触れられる点も大きな魅力です。

滞在中は、オックスフォード大学の現役学生が、寮生活から課外活動まで様々な面でみなさんをサポートするので安心です。オックスフォード市内や近郊には名所旧跡が多く、ロンドンへもバスで1時間半～2時間です。自由時間も様々な過ごし方が可能です。



授業風景



ガラディナー

Pick Up! 第2タームに参加可能なプログラム

新潟大学では平成29年度から全学生を対象に「クォーター制」(ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けたクォーター(ターム)ごとに授業を行う制度)を導入しています。計画的な履修により空白のタームを確保することで、在学したままターム中に留学することも可能です。

以下のショートプログラムは、第2タームに参加可能なプログラムです。実施時期の前年度の1月～3月に募集を行いますので、他の授業に支障がないことを指導教員、授業担当教員、及び所属の学務係に十分に確認の上、申し込んでください。

オーストラリア多文化共生社会体験プログラム 6月中旬～7月下旬(約5週間)

春季実施のショートプログラムの第2ターム版です。クイーンズランド工科大学(QUT) インターナショナル・カレッジにて、5週間のGeneral English Courseを受講します。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生社会について理解を深めます。

▶ <https://www.qut.edu.au/study/qut-college>

仁荷大学サマースクール 7月下旬～8月上旬(約3週間)

大学間交流協定校である仁荷(イナ)大学にて、例年実施されているインターナショナル・サマースクールに参加するものです。韓国語のみならず、「Korea and East Asian International Relations」や「Introduction to K-pop Drama & Its Multicultural Aspects」などの科目を英語で学ぶため、韓国語を全く勉強したことがない方でも参加でき、「英語も韓国語も」学ぶことができるチャンスです。

▶ <https://summer.inha.ac.kr/summer/index.do>

参加学生の声

農学部 石山 琴美 さん
2024年7月～8月 仁荷大学サマースクール

参加の理由は、留学生との交流をする中で、現地に行くことでもっと外国人との交流を深め、異なる文化を体験したいと思うようになったからです。韓国語に自信がなく不安もありましたが、英語と韓国語を同時に学ぶプログラムの魅力に惹かれ、このサマースクールを選びました。

仁荷大学サマースクールの共通言語は主に英語であり、最初は日本人が自分一人だったため不安でしたが、現地の学生や他の留学生が積極的に話しかけてくれ、その不安はすぐに解消されました。親切なスタッフのおかげで韓国の文化や日常生活を体験することができました。韓国語の授業

は完全に韓国語で行われ少し苦労しましたが、語学力向上に繋がったと感じています。授業中にファチェ(韓国デザート)を作り他学生と仲良くなったことは今でも良い思い出です。

留学中は、現地の人々や他国から来た留学生と価値観や考えを交換し、文化の違いを理解し合うことができました。最初に抱いていた韓国やその文化に対する偏見や誤解も、現地の人々と接することで解消できました。

この留学経験を通じて、英語や韓国語学習へのモチベーションが上がり、自分に対する自信もつきました。行く前の不安は全く必要なかったことを実感し、得た学びや楽しい思い出は非常に貴重なものとなりました。

留学を迷っている方でも、思い切って参加することで予想以上に素晴らしい経験が得られると確信しています。



第2タームに参加可能なプログラムに関する情報は「新潟大学 国際交流・留学」でお知らせしています。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/>

専攻に応じて専門分野を海外で学ぶためのプログラムです。

基本的に、プログラム実施学部・研究科の所属学生を対象としています。詳しくは、各学部・研究科学務係にお問い合わせください。

〈プログラムの例〉 ※この他にも実施されるプログラムがあります。最新の情報は所属学部・研究科の学務係で確認してください。

実施学部・研究科	プログラム名	実施予定時期・期間	研修先国・地域	研修先大学等	単位付与・認定	概要
理学部	インド太平洋地域の「仮想フィールド」を活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム	4月～3月 (短期:10日間 中期:1～3か月間 長期:3～12か月間)	インド、オーストラリア、スリランカ	インド理工科大学、マッコリー大学、ペラデニア大学 等	有	インド・オーストラリア・スリランカの大学生らとともに、仮想フィールド実習および渡航型のフィールド実習を通して、フィールド科学分野における最先端の研究環境を体験する。さらに、急速な資源開発やそれに伴う環境汚染に対する先進的な野外調査技術を体験する。
医学部 医学科	夏期医学生交流	8月～9月 (約2週間)	中国、インドネシア、タイ 等	ハルビン医科大学、ハサヌディン大学、タマサート大学 等	有	海外の医療や医学研究機関の見学・実習と共に、現地医学生との交流を目的とした国際舞台で活躍する医師となるためのファースト・ステップ。各大学の学生がお互いの大学を訪問し、異文化交流を深めることで、国際感覚を身につける。
	医学研究実習	9月～10月 (約8週間)	アメリカ合衆国、マレーシア、フィンランド、スウェーデン 等	ハーバード大学、タフツ大学、ヘルシンキ大学、カロリンスカ研究所 等	有	学生は自ら希望する研究室を学内外から選び、研究活動の実際を経験し、研究の意義や重要性を理解すると共に、研究の基本的な進め方を学ぶ。医学生を海外に派遣することで研究心を刺激し、海外経験を通じて、将来的に最先端の医学研究や国際医療協力などグローバルに活躍できる人材を養成する。
	臨床実習Ⅱ	4月～7月 (約8週間)	イギリス	レスター大学	有	海外の大学の医学部において滞在型の臨床実習を経験することにより、国際医療の一端を理解させ、将来的に世界の舞台で活躍できる指導的人材を揺籃する。ここでは多様な文化などに触れる機会も設け、グローバルな知識と教養の涵養も目指す。
医学部 保健学科	グローバルヘルス人材育成短期派遣プログラム	3月上旬～中旬 (10日間)	スリランカ	ペラデニヤ大学	有	ペラデニヤ大学に、春季休暇期間に10名程度の学生を派遣し、大学や病院、JICAオフィスなどの見学・研修を通して、グローバルヘルスに関する意識高揚・人材育成を図るプログラム。
歯学部	世界の多様性理解を背景とした汎用力涵養を目指したグローバルオーラルヘルスプロモーター育成プログラム	8月～3月 (約2週間)	スウェーデン、スイス、ボルトガル、ルーマニア、タイ、台湾	ボルト大学、カールスルーエ医科大学、カールスルーエ大学、国立陽明交通大学、高雄医学大学、マヒン大学、タマサート大学、マルメ大学、WHO本部	有	派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を活かしたさまざまな短期研修プログラムが用意されており、日本とは異なる環境で口腔保健医療の実態を見聞・体験することにより、口腔保健医療の相互理解を深めることができる。
工学部	G-DORM学生交流プログラム(ブレンド型短期・中期)	短期:2学期(講義)+2月頃(派遣10日間) 中期:8～9月 (2ヶ月間)	カンボジア・ラオス・タイ・ベトナム	王立ブノンベン大学(カンボジア)、ラオス国立大学(ラオス)、チュラロンコン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)	有	派遣先大学の学生と、専攻・学年・国籍混合の学生チームを結成し、主にグループワーク(GW)に取り組む。国際展開力を有する新潟関連企業(現地法人を含む)でのインターンシップと、派遣先大学での活動を組み合わせた学生交流プログラム。短期派遣では、国内学修やオンライン交流を含んだブレンド型の国際共修に取り組む。
	マレーシア派遣プログラム	2月下旬～3月 (約5週間)	マレーシア	マレーシア工科大学	有	英語研修と大学や企業等訪問を組み合わせたプログラム。将来国際社会で活躍するために必要な英語でのコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後の学習や長期の留学に対する意欲を高めることを目的とする。
教育実践 学研究科	北京師範大学大学院研究交流事業	11月頃(約6日間)	中国	北京師範大学	無	北京師範大学大学院生と研究交流を行う。また、附属学校において交流事業を行う。
	ソウル教育大学大学院研究交流事業	11月頃(約3日間)	韓国	ソウル教育大学	有	ソウル教育大学大学院生と研究交流を行う。



夏期医学生交流(医学部医学科)



マレーシア派遣プログラム(工学部)

3 交換留学

交換留学とは？

新潟大学と海外の大学(協定校)との間で結ばれている学生交換協定に基づき、1学期間(約半年)または2学期間(約1年間)、協定校へ留学する制度です。留学期間は新潟大学の修業年限(在学年限)にカウントされ、「授業料不徴収協定」が結ばれている場合、新潟大学に授業料を納めていれば、留学先大学では授業料を支払う必要がありません。協定には、大学間交流協定(大学と大学との間で締結している協定)と部局間交流協定(学部や研究科単位で締結している協定)があり、それぞれの対象や問い合わせ先は以下のとおりです。

交換留学の種類	対象	問い合わせ先
大学間交流協定校への交換留学	全学の学生	国際部国際交流推進課
部局間交流協定校への交換留学	当該学部・研究科の学生	所属学部・研究科学務係

以下、全学の学生が対象となる大学間交流協定校への交換留学について記載しています。部局間交流協定校への交換留学については、所属学部・研究科の学務係にお問い合わせください。

大学間交流協定校への交換留学 5つのポイント

- ポイント1** 全学部・研究科の学生が応募できる!
- ポイント2** 応募のチャンスは年に2回!
2~3月開始の交換留学...前年の6~7月頃に募集
8~9月開始の交換留学...前年の10~11月頃に募集 ※応募スケジュールは変更になることがあります。



- ポイント3** 留年なしでの留学も可能!
留学期間中に取得した単位は、所属学部・研究科に認められれば単位互換が可能です。計画的に留学、授業を履修すれば、留学期間を含めて「4年間で卒業」することもできます。(※ただし、所属学部・研究科によって異なるので要確認。応募前に、卒業までのカリキュラムや単位について、所属学部・研究科の学務係や教員と十分相談してください。)

- ポイント4** 経済的負担が少ない!
新潟大学に授業料を納めることで、留学先大学では授業料を納める必要はないため、留学費用の負担が少なく済みます。また、所定の要件を満たしている場合は、返済不要の奨学金を受給しながら留学可能です。(奨学金については、詳しくはp.18-19へ!)

- ポイント5** 手続き面でのサポートあり!
大学間交流協定校への交換留学は、留学が正式に決定するまで国際部国際交流推進課が留学先大学と連絡を取りながら手続きを進めます。また、留学手続きオリエンテーションや渡航前オリエンテーションにて、手順等を確認することができます。

主な留学先	国・地域	大学名	国・地域	大学名	国・地域	大学名
	アメリカ	ロードアイランド大学	タイ	チュラロンコン大学 他	ドイツ	ミュンスター大学 他
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ソノマ校	アジア太平洋地域	UMAP (アジア太平洋大学交流機構) ※	フランス	ナント大学 他
	オーストラリア	シドニー工科大学	中国	黒竜江大学、中央民族大学 他	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
	韓国	仁荷大学、漢陽大学	台湾	国立中央大学 他		

上記以外にも様々な協定校があります。協定校の一覧は、以下のホームページで確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/internationaldata/partner/>



※新潟大学はUMAPと大学間交流協定を締結しているため、UMAP参加大学も交換留学対象となります。

応募前 ~交換留学したいと思ったら~

目的・目標を明確にする

- どのような目的・目標で留学するのか。具体的に何を勉強したいのか。
- どの国で、どのような大学で学びたいか。留学期間は?いつ留学するのがベストか?
- 留学は、その後の自分の学びと進路において、どのような位置づけにあるのか。

後悔しない留学をするには「情報収集」から!

1. 新潟大学HPの交換留学のページの閲覧 (協定校のファクトシートや留学体験談など)
2. 興味のある協定校の公式ウェブサイトの検索 (交換留学生向けの情報、特に、履修できる授業の情報など)
3. 担当教員や所属の学務係への相談
4. 留学ガイダンス・募集説明会への出席
5. 留学相談の活用...他

留学先大学を選ぶ

- 学修したい内容を学ぶことができるか。
- 留学先国・地域の生活環境に適応できそうか。
- 留学先でかかる費用、現地の物価はどうか。
- どのくらいの語学能力が要求されるのか。
- 所属する学部・研究科のカリキュラムを履修するうえで問題はないか。

ポイント! 交換留学には、情報収集能力は不可欠! まず自分で調べてみましょう。留学中、自分の身を守り、充実した留学生活を送るうえでも役立ちます。

大学間交流協定校への交換留学 募集から留学開始までの流れ

	2026年												2027年												主な募集対象 (2025年度実績)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
第I期募集			募集開始・説明会	応募締切・学内選考	派遣候補生決定																		オーストラリア・韓国・台湾など		
第II期募集								募集開始	説明会	応募締切・学内選考	派遣候補生決定												北米・欧州・韓国・台湾など		



※スケジュール、募集対象は変更となる可能性があります



交換留学の費用

留学に必要な費用は、留学する国や留学期間、滞在方法などにより大きく異なります。帰国学生の実際にかかった費用の概算は、国際交流推進課でお伝えすることが可能です。ご家族と事前によく相談し、十分な資金計画を行ったうえで応募してください。

留学にかかる費用の目安

1年間(2学期間)の場合、おおむね120万円から280万円程度。
(内訳) 渡航費、住居費、現地での生活費、教科書代、学研災付帯海学留学保険料及び危機管理サービス料、ビザ取得費用など
その他、現地保険料(現地の大学が定める保険に加入が必須となる場合)や授業料(任意で附属の語学学校に通う場合)がかかる場合がある。



大学間交流協定校への交換留学について詳しく知りたい方は、ホームページを確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/>



その他セメスター留学

右の協定校については、新潟大学に授業料を納める交換留学ではなく、協定校に授業料を納めることにより1学期以上留学することが可能です。
※協定校が語学要件・成績要件を定める場合、その要件を必ず満たさなければなりません。

大学間交流協定校	(参考)左記協定校は、長期休業中の海外留学ショートプログラムの研修先でもあります。あわせてご参照ください。
カナダ・アルバータ大学	カナダ・サマーセミナー → p.11
ニュージーランド・オタゴ大学	オタゴ大学英語研修 → p.11
オーストラリア・西シドニー大学	西シドニー大学国際交流プログラム → p.12

《HP》「新潟大学 国際交流・留学」⇨「海外への留学」⇨「交換留学・その他セメスター留学」⇨「その他(協定校への交換留学によらない留学)」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/fee-paying/>



留学奨学金について

奨学金による支援が充実!

新潟大学には充実した奨学金制度があり、多くの学生が(独)日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金(返還の必要のない奨学金)を受給し、海外へ留学しています。全学対象の夏季・春季ショートプログラムのほか、専門分野プログラムや交換留学等も奨学金の支給対象となっており、条件を満たす学生には、渡航先に応じた月額が支給されます。

奨学金には、返済不要の給付型奨学金と、返済が必要な貸与型奨学金がありますが、ここでは主に返済不要の海外留学奨学金について紹介します。



新大生にとって身近な給付型奨学金 ※下記の支給月額は2025年度の数字です。

奨学金の名称等	対象	支援内容	成績要件	応募方法
1.JASSO海外留学支援制度(協定派遣)	JASSOに採択された新潟大学のプログラム	月額8・9・11・12万円(国・地域による)別途、※渡航支援金制度あり。 1.一定の家計基準を満たす者:16万円 2.一定の派遣期間156日以上(奨学金支給回数6回以上)を満たす者:1万円	あり	参加するプログラムの担当教職員または所属学部・研究科学務係に確認してください。
2.新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金) ※JASSO海外留学支援制度(協定派遣)及び新潟大学基金を財源として学内で公募する奨学金。	1学期間または2学期間の交換留学等が決定している学生	※新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)で新潟大学基金を財源とする場合は、渡航支援金の対象とならない。	あり	学内募集時に、所属学部・研究科学務係を通じて学生が応募
3.新潟大学派遣留学支援制度(海外研修プログラム奨学金) ※新潟大学基金を財源として支給する奨学金。	概ね3か月以内の新潟大学の留学プログラム	・月額6万円(成績評価係数・家計基準等一定の要件を満たす学生) ・一時金4万円(成績評価係数2.00以上2.30未満に該当し、家計基準等一定の要件を満たす学生)	あり	参加するプログラムの担当教職員または所属学部・研究科学務係に確認してください。

1 JASSO海外留学支援制度(協定派遣)

■支給にあたっての主な要件 ※下記の要件は2025年度の内容です。下記①及び②の他にも支給対象者の資格及び要件あり。詳しくは下記ホームページにて募集要項等詳細を確認してください。

①成績要件:成績評価係数※2.30以上 ※JASSOが定める計算式(3.00満点)による。GPAとは異なるので注意。

前年度もしくは、前年度の成績を含めた入学時からの成績により算出します。ただし、前年度の成績がない1年生は前学期分の成績を使用します。ご自身の成績評価係数について確認したい方は、ホームページに計算用のエクセルシートを掲載していますので、ダウンロードして活用してください。

②家計基準:在籍大学において「経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」として認められる者

家計基準判定のための提出書類はホームページを確認してください。

〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/jasso/>



2 新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)

■交換留学など、1学期以上の留学をすることが決まったら...

交換留学等による1学期間または2学期間の留学をする学生が対象です。募集要項で申請要件に合致するかを確認の上、受給を希望する学生は申請期限までに所属学部・研究科学務係宛てに申し込んでください。



- 交換留学への応募とは別に、奨学金への申請が必要です。
 - 支給にあたっての要件は、「1.JASSO海外留学支援制度(協定派遣)」と同様です。
 - 語学要件もありますので、募集要項にて確認してください。
 - 交換留学以外の協定校へのセメスター留学も、その他の要件を満たしている場合は対象となる可能性があります。
- 〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」
⇒「新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/semester/>



3 新潟大学派遣留学支援制度(海外研修プログラム奨学金)

■新潟大学が実施する短期留学プログラム参加を支援

新潟大学基金を財源とする給付型奨学金「海外研修プログラム奨学金」は、概ね3か月以内の新潟大学の留学プログラム等を支援対象としています。

支給対象となるためには、一定の要件(日本学生支援機構(JASSO)奨学金に準じる)を満たす必要があります。参加する留学プログラムがどの奨学金制度の対象となっているかは、プログラム担当教員や、プログラム実施担当学部・研究科の学務係にお問い合わせください。

〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」

⇒「新潟大学派遣留学支援制度(海外研修プログラム奨学金)」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/kaigaikensyu/>



4 古泉肇グローバル人材育成奨学金

■新潟の地域活性化・国際化、新潟の「食」「健康」「産業」発展に寄与するグローバル人材を支援

公益財団法人古泉財団代表理事古泉肇氏のご厚志により、本学学生の海外派遣留学を促進し、新潟の地域活性化・国際化、特に新潟の「食」や「健康」、「産業」の発展に寄与するグローバル人材育成を目的とした奨学金制度です。

● 支援対象(予定)

短期:2026年8月～9月に開始される16日以上～4か月未満の本学が主催する派遣留学プログラム(オンライン留学は対象外)

長期:2026年8月～9月に開始される4か月以上～1年未満の大学間・部局間交流協定校への、派遣先大学の科目を履修し、単位を取得することを前提とした派遣留学プログラム

● 留学計画の中に、新潟の地域活性化・国際化、特に新潟の「食」や「健康」、「産業」の発展に寄与し、「新潟のアンバサダー(大使)」として、新潟の良さをアピールする活動が含まれることが条件になっています。

● 詳細は募集要項にて確認してください。(2026年度の募集要項は2026年3月頃にHPに掲載します)

〈HP〉「国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」⇒「古泉肇グローバル人材育成奨学金」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/koizumi/>



5 英語能力検定試験助成制度

■交換留学等長期留学を考えている方の英語能力検定試験受験料を支援!

新潟大学では交換留学等長期留学促進のための海外留学支援の一環として、派遣先大学の語学要件である英語能力検定試験のうち、本学が指定する検定試験(TOEFL iBT、IELTS)を受験した方の受験料の一部を補助します。

● 新潟大学の正規生(学部生・大学院生)で在学期間中に大学間・部局間交流協定に基づく交換留学、及びそれに準じる留学プログラムへの参加を予定している方が対象です。

● 申請期間は年2回。申請についての質問は国際交流推進課まで。

〈HP〉「国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」⇒「英語能力検定試験受験料助成制度」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/eigokentei/>



その他の奨学金

海外留学の奨学金には、上記以外にも、外国政府等奨学金(中国政府奨学金など)、地方自治体奨学金、民間団体奨学金など、様々な奨学金があります。積極的に情報収集し、ぜひ自分に合った奨学金を見つけて応募してみてください。大学を通して申請する海外留学奨学金については、上記「新潟大学 国際交流・留学情報」HPに情報掲載しています。

■オススメ!

JASSOの「海外留学支援サイト」では、留学先国・地域についてだけでなく、海外留学奨学金について情報収集・検索することができます。

▶ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



留学安全・危機管理について ～自分の身は自分で守る～

関係資料や様式等について、ホームページで確認・ダウンロード可能です。
〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「留学の安全・危機管理」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/safety/>



渡航前の注意 (心構えと情報収集)

海外では、日本とは異なる危険や病気、事件・事故等、予期しない事態に遭遇する可能性があります。留学中は、自分の安全管理は、自分自身で行うことが必要です。
留学先を決定する際は、必ずその国・地域の様々な情報を調査し、留学期間中を通じ、常にその国・地域の最新情報の入手に努めるとともに、危険と思われるところへは近づかないよう注意してください。

1 「外務省海外安全ホームページ」からの情報収集

外務省では「海外安全ホームページ」<https://www.anzen.mofa.go.jp/>に、海外の犯罪、事件、テロなどの危険情報や、感染症流行状況、予防接種の要否、安全の手引きなど、有益な情報を掲載しています。渡航前には、必ず「海外安全ホームページ」を確認し、渡航の準備をしてください。



「海外安全ホームページ」
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

トップページにある「国・地域名からの検索」または「世界地図からの検索」から情報を得たい国・地域の名称を選択すると、その国・地域の情報を確認できます。

新潟大学では、危険情報(感染症危険情報を含む)レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」以上の国・地域や、スポット情報で渡航自粛が呼びかけられている国・地域への渡航は禁止しています。派遣先の危険情報及び感染症危険情報レベルや現地治安状況に大きな変化が起きた場合は、大学の判断で研修の中止・途中帰国を判断することがあります。

2 「たびレジ」登録

渡航予定が決まったら、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。

▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

登録すると、渡航先の最新防犯情報や注意事項が電子メールで提供されます。

また、渡航先国・地域に所在する日本国大使館などが在留邦人に出す緊急一斉通報や、最新の渡航情報もリアルタイムで受け取ることができます。さらに、現地で大きな事件や事故、災害が起こった場合には、登録された連絡先を基に日本国大使館などから安否確認の緊急連絡を行いますので、支援がスムーズに受けられます。

なお、「たびレジ」簡易登録を活用すると、具体的な渡航予定はないが海外の安全情報は入手したいという場合も、メールアドレス(複数アドレス登録可能)と国・地域(複数指定可能)を登録するだけで、最新の安全情報等をメールで受け取ることができます。留学に際してご家族のメールアドレスを簡易登録すると、皆さんの留学先国・地域について、ご家族も最新情報を得ることが可能です。

また、渡航期間中に小旅行等で別の国・地域に移動する場合にも、行き先の国・地域について「たびレジ」へ登録しておきましょう。

※外国に住所または居所を定めて3か月以上滞在する場合は、「在留届」を提出してください。



3 在外公館連絡先確認

渡航先の最寄りの日本大使館・領事館の所在地・連絡先を調べておきましょう。

▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

在外の日本大使館・領事館は、海外における日本人の保護や援助を任務の一つとしています。渡航先で、事件・事故に遭うなどして支援が必要となった時には、迷わず滞在地最寄りの日本大使館・領事館へ連絡してください。



4 海外渡航前安全管理オリエンテーション出席

新潟大学では、海外渡航する学生の皆さんの安全管理教育のために、長期休暇前の6-7月及び12月に五十嵐キャンパス及びオンラインで、渡航前安全管理オリエンテーションを開催しています。海外に渡航予定の人は、必ず出席するようにしてください。

5 各種情報収集 参考URL

海外安全情報

- 外務省 海外安全ホームページ……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 外務省 海外旅行登録「たびレジ」……………▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- 外務省 海外安全虎の巻……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>
※各学部・研究科学務係及び学務部留学交流推進課で紙媒体の冊子入手することができます。
- 外務省 在外公館リスト……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

感染症・医療情報

- 外務省 世界の医療事情……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>
- 厚生労働省検疫所 海外旅行者のための海外感染症情報……………▶ <https://www.forth.go.jp/index.html>
- 国立感染症研究所感染症疫学センター……………▶ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
- 世界保健機関(WHO)……………▶ <https://www.who.int/en/>
- 米国 疾病対策センター(CDC)……………▶ <https://www.cdc.gov/>

危機管理情報

- 米国 連邦危機管理庁(FEMA)……………▶ <https://www.fema.gov/>
- 英国 情報局保安部……………▶ <https://www.mi5.gov.uk/>
- 英国 外務英連邦開発省(FCDO)……………▶ <https://www.gov.uk/government/organisations/foreign-commonwealth-development-office>

渡航前の諸手続き

海外へ渡航する場合は、必ず事前に次の手続きを行ってください。

1 海外旅行保険・危機管理サービス加入

海外の病院での医療行為は日本とは医療事情が異なり、一般的に日本での治療費用より高額な場合が多く、海外旅行保険による支払保証を行わないと治療を受けられないこともあります。渡航中の不慮の事故や疾病に備えて、海外旅行(留学)保険に必ず加入してください。

(1) 大学主催の海外派遣プログラムに参加するなど、教育・研究活動のため渡航する学生の皆さん

新潟大学では、教育・研究活動のため海外渡航する学生の皆さんについては、原則、大学が指定する学生教育研究災害傷害保険(学研災)付帯の海外留学保険「付帯海学」に加入することとしています。あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスにも加入していただきます。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。「付帯海学」及び危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードするか(フォルダ名:学生向け海外渡航手続き(保険・危機管理サービス)関係資料)、所属学部・研究科の学務係または国際部国際交流推進課で資料をもらい、確認してください。

(2) 左記(1)以外の目的(観光旅行等)で渡航する学生の皆さん

少なくとも「治療・救援費用」、「賠償責任費用」については、必ず十分な補償内容の海外旅行保険に加入してください(クレジットカード付帯の保険は原則不可)。最低でも、「治療・救援費用」の補償額が3,000万円以上、「賠償責任費用」については補償額が保険会社の上限補償金額の保険に加入することを推奨します。(ただし、3,000万円以上の海外旅行保険加入が、事故にかかる費用を確実に補償するものではありません。)あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスに加入していただくことができます(推奨)(ただし、私事旅行のうち、親族が同行するもの及び留学生の一時帰国については対象外)。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードしてください。

2 「海外渡航計画書」「海外渡航前確認書」の提出

目的・理由にかかわらず、海外へ渡航する場合は、必ず事前に所属学部・研究科の学務係に「海外渡航計画書」及び「海外渡航前確認書」を提出してください。

「海外渡航計画書」は学務情報システムの【海外渡航登録】から、渡航先や渡航目的、緊急連絡先などを入力して作成してください。作成後は、忘れずに「海外渡航計画書」をPDF出力して印刷し、所属学部・研究科の学務係に提出してください。

「海外渡航前確認書」は学務情報システムからダウンロードして、確認項目について理解した上で、印刷したものに記名し、所属学部・研究科の学務係に提出してください。

留学中に気を付けること

「安全のための行動三原則」をしっかり守ろう!

1) 目立たない

目立たない服装や、慎んだ行動をとることが危険を回避することにつながります。

2) 行動をパターン化せず、察知されない

外出時間やルートの固定化、長期の不在等には十分な注意を。

3) 常に用心を怠らない

慣れは禁物。自分ではどんなに現地に慣れてきたと思っても、周囲からは日本人として見られているものです。日頃から携行品に細心の注意を払い、後ろを振り向く習慣を身につけるようにしましょう。

留学体験談

これ以外の留学体験談は、ホームページで Check!

〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「留学体験談」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/student/>



ショートプログラム (オーストラリア多文化共生社会体験プログラム)

工学部 渡辺 皓士 さん

私は2025年の春季休業に、5週間のオーストラリア多文化共生社会体験プログラムに参加しました。留学を決めた理由は、将来海外でも働けるようになりたいという目標があり、その第一歩として英語での生活を体験したいと思いました。

研修先では、月曜から木曜に文法を中心とした授業が行われ、金曜には異なるクラスの学生と協力してアクティビティに取り組みました。そこではさまざまな国や文化的背景を持つ人と交流でき、視野を広げる貴重な機会となりました。課題はパソコンで問題の解答や、ホストファミリーへのインタビューなどがありました。平日は授業後にクラスメイトとバーベキューをしたり、カフェに行ったりと、自然に英語を使う時間が多くありました。

1日の流れは、午前授業を受け、午後はホストファミリーと子どもの習い事に同行したり、買い物に行ったりするなど、現地の生活に深く関わるものでした。休日

は家族と映画を観たり、ナショナルパークや動物園に出かけたりと、まるで家族の一員のように過ごすことができました。

特に印象に残っていることは、毎日「知らない人に話しかける」という自分への課題を続けたことです。犬の散歩中や登下校の途中で出会った人に声をかけ、仕事や生き方について聞く中で、自分の視野が大きく広がりました。語学学習はポッドキャストを聞く程度でしたが、実際の会話の経験を通してスピーキング力の向上を実感しています。

私はこの留学を通して、「根拠のない勇気を持って一歩を踏み出すことの大切さ」を学びました。この「根拠のない勇気」とは、十分な準備や実績があるわけではないのに、「なんとなくできる気がする」と思って踏み出すことです。つまり、これまでの準備や実績が留学の成功を決めるわけではなく、一歩を踏み出す勇気そのものが大切なのだと思えました。留学を迷っている人には、ぜひこの「根拠のない勇気」を持って一歩を踏み出してほしいと思います。



ショートプログラム (シンガポール・スプリングセミナー)

経済科学部 横尾 誠太郎 さん

私が本プログラムへの参加を決めたのは、友人の勧めがきっかけだった。大学生のうちに海外に行きたいと思いつつも一歩踏み出せずにいた私にとって、急成長を遂げ、多様な文化が共存するシンガポールは未知の発見がある魅力的なフィールドだった。また現地の企業訪問やシンガポールの学生との交流も大きな魅力だと感じた。

プログラムは、平日の午前は英語授業、午後は学生交流や企業訪問といったアクティビティで構成されている。授業はディスカッションがメインであるうえ、日本語で話すことを禁止されるため、日々の英語学習の成果と自分の知見を堂々と発表する場となる。他の参加者の示唆に富む意見に触れることで視野が広がった。また、聴衆の心に残るような伝え方や、海外流のプレゼンの技法を学べたことは、帰国後の活動に生きる貴重なスキルだと考

えている。

自由時間も充実していた。シンガポールは新潟市と同程度の面積であり観光地へのアクセスが非常に良い。メンバーと共に動物園、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイを訪問し、現地の空気を肌で感じた。1番印象に残ったことは、誕生日のメンバーをシンガポールフライヤからの夜景とともに祝ったことだ。このメンバー、この場所でしか得られない最高の思い出となった。またタクシーアプリを活用したことや現地の人と英語で積極的に会話することで自信につながった。

本プログラムは、学びとカルチャーの両面からシンガポールの理解が深まり、自分を磨く絶好の機会である。もし、短期間で観光も勉強も全力で楽しみたいのなら、このプログラムほど充実したプログラムはないと確信している。



ショートプログラム (韓国サマーセミナー)

経済科学部 橋本 彩夏 さん

私は、ソウルの漢陽大学で行われた韓国サマーセミナーに参加しました。新潟大学の夏季休業期間に、約20日間のプログラムを受講してきました。韓国コンテンツへの関心から大学1年次に朝鮮語を履修していましたが、語学授業を受けながら韓国での生活を体験できる点に惹かれて参加を決めました。

本プログラムは、9時から13時まで韓国語の「正規授業」、昼食後はメンターとの文化体験や韓国コンテンツでの学習という「特別授業」で構成されていました。正規授業は、事前にレベル分けテストがあり自分に合ったクラスでの受講ができました。特別授業は、日本で人気なK-popアイドルの曲やドラマが題材の授業もありますが、現地の学生メンターと韓国を代表するノンパル演劇のNANTA公演を鑑賞したり、漢江のクルーズやチキンバーティーに参加したりしました。授業の無い休日は、一緒にサマー

セミナーに参加した学生やメンターと観光地を巡ったりショッピングをしたりして韓国生活を満喫しました。メンターとお互いの言語を教え合う勉強もできて、多くの刺激を得ることができました。

本プログラムの特徴は、「読む・聞く・書く・話す」がバランスよく構成された授業であることです。新潟大学では記述力に重点を置いた授業を履修していたため、全て韓国語で行われる授業で、まんべんなく語学力を向上させることができたと感じています。また、大学申し込みと一緒にプログラム参加をする仲間がいるので、初めての海外生活でしたが、安心して生活することができました。

旅行目的ではできなかっただろう多くの経験をさせてくれたプログラムでした。大学入学時から始めた朝鮮語学習ですが、授業の内容暗記に必死でなかなか上達しないことにストレスを感じることもありましたが、この留学をきっかけに意欲的に学習に取り組んでいるため、朝鮮語学習に挫折している人こそ、本プログラム参加を通して「生きた言

語」にふれて欲しいと思います。国際交流や言語学習・文化体験などで、「どんな学び」を得るかは人によって様々ですが、これから参加される皆さんにとって貴重な経験となることを願っています。



交換留学 (フランス・ナント大学)

人文学部 久須美 諒典 さん

私は大学3年の9月から一学期間、フランス・ナント大学に交換留学をしました。きっかけは、ナント大学からの留学生たちと授業で仲良くなったこと。初修外国語としてフランス語を学びはじめた当初は、まさか2年後にフランス生活が待っているなんて夢にも思っていませんでした。

新潟と姉妹都市であるナントは、とても住みやすい街です。特に、日本人をサポートしてくれる「なんとなくナント」という団体の存在は本当に心強く、安心して日々の生活を送ることができました。

留学中は、大学でのフランス語の学習だけでなく、日本の文化を発信する活動にも力を入れました。中でも、現地の友人や大学の職員さんたちに助けをもらいながら、学内の図書室で書道の展示会を開催できたことはとても良い思い出です。最初は全然理解できなかったフランス語は、大学の

授業や日常生活での会話を通して次第に上達し、気づけば中学生のころから何年も勉強してきたはずの英語よりも自由に話せる言語にまで成長していました。また、ともに学んだクラスメイトたち一人ひとりにも多種多様な背景があることを知り、そうした人たちとの出会いによってグローバル社会がとて身近なものになりました。

人生初の海外は、毎日が新しい出会いと発見の連続!フランスでの、日本とはあまりに違う日常はとて面白いものでしたし、日本以上に人と人のつながりがたくあたたかく感じられるフランスは、私にとって本当に居心地のよい世界でした。今、私の心の中では「これまでの自分」とフランスで見つけた「新しい自分」の二つの価値観が共存・融合しています。こうしてさまざまな物事に對してより多角的なまなざしを向けられるようになったことは、私の人生における大きな財産です。

留学は、語学力の向上がすべてではありません。

せん。興味関心や目的意識、そして新たな出会いや縁を大切に、あなたらしい素敵な留学体験が得られることを、心から願っています。



交換留学 (アメリカ・ロードアイランド大学)

法学部 小林 ジャンルース 愛子 さん

私は昔からアメリカの生活や文化に興味があり、小さい頃からアメリカのドラマや洋楽に親しむ中で、アメリカ留学が夢になっていました。また、英語を話せるようになれば関わる人の幅が広がり、自分の世界や将来の選択肢も広がると考え、留学を決意しました。さらに、多様な文化や人種が共存するアメリカで生活することで、自分の価値観や視野を広げたいという思いもありました。

留学先では国際寮に住み、多くの国から来た留学生と交流することができました。英語だけでなく、以前から学んでいたスペイン語を使う機会もあり、さまざまな国の文化に触れることができました。大学にはジムやスポーツ施設が整っており、アメリカンフットボールの試合などのイベントも多く、学業だけでなく生活面でも充実した日々を送ることができました。

学習面では、日本の大学と比べて課題が多く、授業はすべて英語で行われるため大変に感じることもありましたが、最初は発言することに苦労しましたが、次第に自分の意見を積極的に述べる姿勢が身につきました。一方で、留学生を支援する体制も整っており、留学生の相談に乗ってくれる先生や、エッセイの添削を行ってくれるライティングセンターを活用しながら学習し、学びを深めることができました。

さらに、ハロウィンやサンクスギビング、クリスマスなどの行事を現地で体験できたことや、他の州はもちろん、カナダへの旅行もできたことが印象に残っており、とても楽しく充実した留学生活を送ることができました。

留学を通して語学力や異文化理解力に加え、問題解決力や度胸が身につく、この1学期間はこれまでで最も成長できた時間でした。留学前は卒業や就職活動への不安もありましたが、結果的にこの経験は就職活動でも強みとなり、挑戦して本当によかったと感じています。留学を考えている人や迷っている人には、ぜひ前向きに挑戦してほしいと思います。

たと感じています。留学を考えている人や迷っている人には、ぜひ前向きに挑戦してほしいと思います。



トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム (ドイツ・交換留学とボランティア)

人文学部 鈴木 歩 さん

私は、トビタテ!留学JAPANと学部の交換留学制度を併用し、2024年10月から2025年8月までの約1年間、ドイツに留学しました。

私のビジョンは、「ひとりひとりが自分の夢や目標を、胸を張って語れる日本社会をつくること」です。その実現には「多様性」への理解が不可欠だと考え、「ドイツ・ヨーロッパにおける難民・移民の受け入れ」を軸に、多様性とその裏にある葛藤を学ぶ留学を設計しました。

留学先はルール大学ボーム。専門分野やテーマ関連の講義を受講するとともに、実践活動としてドイツ国際平和村で、紛争地域から来た子どもたちの生活支援ボランティアに参加しました。大学には難民・移民の背景を持つ学生も多く、戦争体験を本人の言葉で聞く機会がありました。ニュースでは得られない「生の声」に触れ、共生社会のあり方を人間

の深い部分から考えることができました。

そんな日々の中で、私は多くの人と出会い、多様な人生の物語に触れました。そして確かになったことは、「人の数だけ物語があり、世界の見え方があり、それらは簡単に比べられるものではない」ということです。生きていて目を疑うような出来事はたくさん起こります。そんなとき、「そういう世界もあるのかもしれない」と一歩引いて受け止められるようになったことは、私を縛っていた「当たり前」を少しずつほどいてくれました。

留学全体を通して、情報の力と危うさ、平和の意味、そして多様性と向き合うための「尊重」と「気遣い」の大切さを学びました。また、トビタテで出会った仲間とのつながりも私にとって大きな財産となりました。

留学を終えた今、心から言えるのは「留学に行けて、本当によかった」ということです。私にとって留学は「出会いの物語」でした。

あなたの一歩を応援してくれる人は、きっと想像

以上にいます。留学という挑戦が、あなただけの物語を紡ぎきっかけになることを願っています。



※写真提供: ドイツ国際平和村

※トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム第2ステージは2025年度で終了しました。